

## 図書館事業計画にかかる評価について

### 1. 目的

図書館の基本的運営方針の実現のため、活動目標ごとの評価について、自己評価と図書館協議会による外部評価を実施し、事業計画の推進を図ります。

### 2. 評価にかかる法的根拠

#### (1) 図書館法

第七条の三（運営の状況に関する評価等）

図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

#### (2) 図書館の設置及び運営上の望ましい基準

第2 公立図書館 一 市町村立図書館 1 管理運営

##### (2) 運営の状況に関する点検及び評価等

- ① 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(1)の②の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- ② 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第14条第1項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、当該図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- ③ 市町村立図書館は、前2項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- ④ 市町村立図書館は、第1項及び第2項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

### 3. 評価の実施

評価の実施にあたっては、計画（Plan）→実施（Do）→評価（Check）→改善（Action）を実行することで、図書館運営全般の評価とその結果に基づく運営の改善及び図書館サービスの向上を図っていきます。

(1) 活動指標の設定

「大津市図書館の基本的運営方針」の実現に向けて掲げた5つの活動目標に基づき指標を設定し、事業の達成度を測ります。

(2) 評価基準

設定した指標の達成状況等により、4段階で評価します。

- A 目標が達成され、十分な成果をあげた。
- B 目標が概ね達成され、一定の成果をあげた。
- C 目標は達成されなかったが、一定の成果をあげた。
- D 目標が達成されず、十分な成果をあげることができなかった。

(3) 評価方法

設定した指標等をもとに、5つの活動目標についての達成状況を図書館内で自己評価をします。その内容を大津市図書館協議会で報告します。また、図書館協議会による外部評価を実施し、事業計画の推進を図ります。

(4) 令和5年度事業評価の結果について

【評価結果一覧】

評価項目	自己評価			外部評価
	本館	北館	和邇館	
活動目標1 市民の学びに応える図書館	B	B	B	B
活動目標2 だれもが利用できる図書館	A	A	A	A
活動目標3 魅力あふれるまちづくりを支える 図書館	A	A	A	A
活動目標4 子どもの育ちを支援する図書館	A	A	B	A
活動目標5 市民とともにつくる図書館	B	A	A	A

【活動目標ごとの評価シート】

別紙のとおり

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和5年度評価シート

活動目標 1	市民の学びに応える図書館
主な取組み	①幅広い資料の収集と保存 ②資料・情報提供の充実 ③レファレンスの充実 ④図書館職員の資質向上

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度の取組状況				
<p>① ・幅広い資料の収集と保存に積極的に努めた。</p> <p>② ・利用者ニーズの把握と要望に応えるための蔵書構成と資料費の確保に努めた。 ・電子図書コンテンツについては、複数同時アクセスが可能な児童書のマルチライセンス型コンテンツを導入し、朝読書や調べ学習に活用できるコンテンツの選書を行った。 ・新鮮な図書の蔵書構成に努めるため、引き続き丁寧に除籍作業を実施し、除籍資料は、市内施設(公民館・児童クラブ等)及び利用者に館外イベント(びわ湖のほとりのあおぞらとしゃかん)並びに館内においてリサイクル本として提供事業を開催した。 ・バリアフリー図書の収集 ・大活字本(175点)、朗読CD(71点)、洋書(28点)、LLブック(4点)、外国人向け日本語(2点)等の充実を図った。 ・新刊本の受入情報について、本の紹介と合わせてSNSで情報発信を行った。 ・参考資料室を中心とした郷土資料の充実に努めた。 大河ドラマ「光る君へ」に係る石山寺プロモーション事業に係る石山寺及び源氏物語、紫式部、平安時代関連の図書の収集を積極的に行った。</p> <p>③ ・レファレンスツールの整備 法令の改正や参考資料の改訂に併せて購入を積極的に行った。</p> <p>④ ・外部研修への積極的な参加(県立図書館、滋賀県生涯学習課主催等の研修受講。その他リモート・ZOOM研修にも積極的に受講) ・館内整理日を活用した職員全体研修の実施(「コンプライアンス研修」、「接遇研修」等実施)</p>				
(2) 課題と今後の展開				
<p>① ・図書、雑誌、郷土・行政資料、視聴覚資料、バリアフリー資料、外国資料など豊富で幅広い資料収集を積極的に行うだけでなく、収集した資料を広く知ってもらう工夫と広報活動を充実させる必要がある。 ・図書館資料の収蔵力には限界があることから、除籍作業についても、引き続き慎重に作業を継続してゆく必要がある。</p> <p>② ・資料・情報提供の充実については、利用者の読書要求に応えるため、引き続き、カウンターでの貸出・返却業務や読書相談やレファレンス等業務について、適正かつ丁寧に対応していく。</p> <p>③ ・日常の疑問の解決や調査研究活動に対応できるよう、参考資料室を中心として、レファレンスツールの整備や資料の充実に引き続き努める。</p> <p>④ ・多様化する利用者のニーズの把握に的確に応えるよう職員の資質向上を図る必要がある。 ・変動する社会情勢に対応すべく、情報の真偽の判断力や氾濫する情報から適切な情報を掴む能力が求められており、職員の資質及び能力向上を図るため、引き続き研修に積極的に参加し館内で共有していく。</p>				
2 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
貸出冊数	835,000	815,594	97.7%	835,000
蔵書冊数	522,000	532,370	102.0%	522,000

3 自己評価	達成状況	B
<p>幅広い資料の収集においては、様々な選書ツールを用いジャンルや利用状況等を加味しながら幅広い資料の収集に努めた。また、購入や相互貸借にて出来るだけ利用者のリクエストに応えるように努めた。さらに、資料の充実と新鮮な蔵書構成を保ちながら除籍作業を実施するとともに除籍した資料の提供について、市民はもとより市関連施設への提供も行った。</p> <p>電子図書の利用拡大については、図書館の展示本とリンクするよう電子図書館内に特集バナーを設置し、利用促進を図るよう工夫した。また、バリアフリー関連図書及び郷土資料の充実にも努め、利用者への周知を図るとともにテーマ展示等に活用し、資料のPRと利用の促進を図った。</p> <p>職員の資質向上については、市民の読書要求に応えるべく、レファレンス資料等を活用しながら、適切に対応できるよう、ZOOM等を活用し積極的な研修参加に努めた。</p> <p>上記取組を行った結果、一定の成果はあったものの貸出冊数が目標値に達することができなかった。今後も、これまでの貸出サービスや情報提供等を継続しつつ、魅力ある資料収集に努めることにより更なる利用促進を図っていきたい。</p>		

## II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開															
(1) 令和5年度の取組状況															
<p>① ・幅広い資料の収集と保存に積極的に努めた。</p> <p>② ・図書館の利用者に、新たに入手した資料や情報を分かりやすく揭示し、提供の充実に努めた。  ・「本のミニリサイクルコーナー」を一年を通して行い、除籍後の資料を市民に譲渡した。  ・北図書館おたのしみ袋の設置(一般42袋、児童47袋)  ・時代小説や人気作家の文学作品など北館で利用の多い文庫本を大きな活字の新版へ買替を行った。</p> <p>③ ・図書館の利用者にわかりやすい位置にレファレンス用カウンターを設けて、市民の様々な活動を支援するための情報サービスの充実に取り組んだ。</p> <p>④ ・コンプライアンス研修や情報セキュリティ研修等を積極的に受講した。  ・自主事業の「季節のおはなし会」等で多くの職員が積極的に発表を行った。  ・「言葉づかい」と「電話対応」をテーマに接遇の研修を実施した。</p>															
(2) 課題と今後の展開															
<p>① ・図書館資料の収蔵力には限界があるため、積極的に除籍作業を行う。</p> <p>② ・カウンターにおける貸出・返却・レファレンス業務において、接遇の基本を身に着けて資料・情報提供を行う。</p> <p>③ ・図書館職員のレファレンスに関する更なる知識の習得</p> <p>④ ・館内整理日の中で研修時間を設け、職員の資質向上に努める。  ・県立図書館等で開催する研修会には、ローテーションを調整し、参加できるよう努める。  ・土日勤務の偏重の勤務ローテーションのため、平日開催の研修会に参加が難しい。</p>															
2. 指標															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和5年度実績</th> <th>達成率</th> <th>令和6年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>372,000</td> <td>353,378</td> <td>95.0%</td> <td>372,000</td> </tr> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>177,000</td> <td>175,786</td> <td>99.3%</td> <td>177,000</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標	貸出冊数	372,000	353,378	95.0%	372,000	蔵書冊数	177,000	175,786	99.3%	177,000
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標											
貸出冊数	372,000	353,378	95.0%	372,000											
蔵書冊数	177,000	175,786	99.3%	177,000											
3. 自己評価	達成状況	B													
<p>市民の読書要求に応えるため、幅広い資料の充実に努めるとともに、県立図書館や他都市の図書館との相互貸借を積極的に活用しながら、効率的かつ効果的な資料提供に努めることができた。また、多様化高度化する市民の調査・研究に対応するため、電話等によるレファレンスの充実に努めることができた。職員の資質向上については、北図書館職員で「言葉づかい」と「電話対応」の接遇研修を行い、図書館職員の資質向上を図った。</p> <p>指標については、目標値に到達しなかったが、今後も資料の充実に努め、1人でも多くの市民に活用いただけるような取組を進めていきたい。</p>															

## III. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開
(1) 令和5年度の取組状況
<p>① ・蔵書の見直し(今年度は開架図書の日本の小説、4～7類の本を整理)  ・破損・汚損本の買いなおし</p> <p>② ・館内展示(成人・児童)や「図書館だより」「くらぼ」「夏休み読書案内」の発行、「時代小説文庫一覧」の更新、「英文多読資料リスト」の作成、バリアフリー資料リストの作成(再掲)</p> <p>③ ・「英文多読コーナー」の充実と使い方講座の実施  ・レファレンス記録を回覧し、職員全員で共有した。</p> <p>④ ・担当業務を共有することで、業務全体の理解を深めた。</p>

(2) 課題と今後の展開				
① ・統計などを活用し、蔵書に偏りがないようバランスを図るとともに、新鮮な書棚を維持できるよう、利用者のニーズや社会情勢を反映した本の購入や内容の古くなった本の除籍などをすすめる。 ・選書会議の方法について検討し、幅広い意見交換ができるようにする。 ② ・館内展示や新刊案内、ブックリストなどの発行の継続のほか、新たな本のリストを作成する。 ・好評であった「英文多読」講座を定期的に行い、また、洋書コーナーも充実させる。 ③ ・レファレンスの記録をほかの利用者にも公表できるように、レファレンス記録用紙を作成する。 ④ ・レファレンスや障がい者サービスについて館内で研修を行う。 ・各種図書館サービスやテーマに応じた研修の受講による職員の資質向上を図り業務に活かす。 ・研修で学んだことを共有し、実務に生かせるよう、報告会を行う。				
2. 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
貸出冊数	311,000	283,836	91.3%	311,000
蔵書冊数	201,000	202,056	100.5%	201,000
3 自己評価		達成状況	B	
市民の学び、読書欲求に応えるため、蔵書の整理、様々なリストの作成、展示などを行ったが、貸出冊数が目標値に達しなかった。 今後は貸出や予約、レファレンスなどの基本的なサービスを充実させるとともに、これまで図書館を利用したことのない市民に届くPRや貸出につながる事業も考えていきたい。				

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	B
市民の読書要求やリクエストに応えるため、新刊書をはじめとする様々なジャンルにおける資料の選定やマルチライセンス型電子圖書の導入など、幅広い資料の収集・保存に努めるとともに、館内展示やSNS等での資料案内、レファレンスなど様々な活動を通して資料提供に努めており、一定の成果をあげている。 一方、貸出冊数においては各館とも目標値にあと一歩及ばなかったことから、引き続き実効性ある取組を行うとともに、広報活動や情報提供にも努められたい。 指標については、市民の学びに応えるための様々なサービスを行う中で目標達成が難しいようであれば、見直しが必要である。図書館の活動においては数値や指標の達成がすべてではなく、貸出サービスにつながる活動そのものは評価したい。		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和5年度評価シート

活動目標 2	だれもが利用できる図書館
主な取組み	①図書館への来館が困難な人へのサービスの展開 ②障害者サービスへの展開 ③高齢者へのサービスの展開

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度の取組状況				
① 移動図書館の定期巡回 学校等へのスポット巡回、出前講座を活用したスポット巡回の開催 ・ブックポストの新設(JR堅田駅西口広場前) ・電子図書及びオーディオブックの普及啓発と電子図書の特集ページの充実 ・電子図書コンテンツの充実(令和5年度購入801コンテンツ) ・電子図書マルチライセンス型コンテンツの導入(193コンテンツ(内数)) ・利用者登録の電子申請実施 ・「スマホ利用券」運用開始 ・朗読ボランティアによるとしよかんまつり「おとなのための朗読会」の実施				
② 障がい者サービスに関するリーフレットの作成				
③ 高齢者事業(連続講座の実施 年間7回実施 延べ142人参加) ・障がい者図書(大活字本と朗読CD)の収集を行った。 大活字本 175冊 朗読CD71点				
(2) 課題と今後の展開				
① 移動図書館の利用促進 ・出前講座を活用した移動図書館さざなみ号特別巡回の実施と発信 ・図書館の利用促進につながる環境の整備				
② 電子図書及びオーディオブックの利用促進 ・障がい者資料等整備及び利用につながる情報発信				
③ 図書館での高齢者向け行事については今年度ワークショップと講演会を実施し好評であったため次年度以降も事業を継続する。図書館職員以外の外部講師による多彩なメニューを展開したことで、図書館来館への動機付けや居場所づくりとなり、さらなる利用につながるため継続していく。 ・様々な図書館資料に触れることで、読書の楽しみにつながる事業の展開を行う。				
2 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
来館者数	230,000	242,021	105.2%	230,000
図書館利用促進につながる事業回数	270	376	139.3%	300
3 自己評価		達成状況	A	
①移動図書館サービスについては、高齢者や子ども連れの方などを中心に幅広く利用されており、巡回場所ごとに状況を見ながら資料を準備し、新鮮な状態を保つよう努めた。また、定期巡回を行っている地区以外の地域の商業施設などへの巡回を実施し、移動図書館と図書館サービスについての周知を図った。				
②電子図書の運用については、非来館型図書館サービスとして、いつでもどこでも読書ができる環境の整備を図った。今年度は特に小学生向けマルチライセンス型コンテンツの導入を行い、朝読書や調べ学習に活用できる環境整備に努めた。				
③高齢者事業については、図書館へ来る動機付けを図る事業展開を行った。また、活字の読書が困難になってきたことにより、図書館への来館が途絶えることのないよう障がい者資料の充実に努めた。				

## II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度の取組状況				
<p>① ・ブックポストの新設(JR堅田駅西口広場前)(再掲) ・小中学校等への定期配本による団体貸出の運行</p> <p>② ・大活字本の定期的な購入(計32冊) ・介護や高齢者向け施設で需要の高い分野の資料を積極的に購入(紙芝居、介助・食事関連、レクリエーション・運動等)</p> <p>③ ・北図書館職員が北老人福祉センターへ出向き、高齢者向けの紙芝居によるおはなし会を開催し、趣味や生きがいに役立つ高齢者へのサービスに取組んだ。</p>				
(2) 課題と今後の展開				
<p>① ・小中学校等への定期配本の利用促進 ・出前講座を活用した図書館案内の実施</p> <p>② ・バリアフリー資料等の整備充実 ・電子図書及びオーディオブックの利用促進</p> <p>③ ・高齢者施設との連携を図った、図書館の利用促進 ・高齢者向けの紙芝居を充実</p>				
2 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
来館者数	180,000	182,078	101.2%	180,000
図書館利用促進につながる事業回数	100	144	144.0%	120
3 自己評価		達成状況	A	
<p>図書館への来館が困難な人のために、JR堅田駅西口広場前にブックポストを設置し、令和6年3月15日より運用を開始した。</p> <p>また、高齢者向けの大活字本や紙芝居を購入し、だれもが図書館を利用できるサービスを展開した。</p> <p>令和4年度からの新規事業として、北図書館職員が高齢者施設に出向き、高齢者向けのおはなし会を開催し、高齢者へのサービスの展開を図った。</p>				

## III. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度の取組状況				
<p>① ・移動図書館車の更新(令和5年8月) ・移動図書館の運行 ・学校・園、児童クラブなどへの団体貸出(再掲)</p> <p>② ・大活字本、朗読CD、点字図書、LLブック などバリアフリー資料の収集 ・大活字本、朗読CD、バリアフリーDVDなどバリアフリー資料リストの作成 ・「テープ版図書館だより」の作成(12回) ・バリアフリー映画会の定期開催と障害者団体への広報 ・対面朗読の実施</p> <p>③ ・映画会「名画の窓」、おりがみ教室の開催 ・高齢者施設への団体貸出、移動図書館の運行</p>				

(2) 課題と今後の展開

- ① ・移動図書館利用のPR  
・電子図書館利用のPR
- ② ・さまざまな分野の大活字本など、バリアフリー資料をさらに収集していく。  
・マルチメディアデジターの活用を検討する。  
・「バリアフリーDVD」の購入・定期的な上映会の開催  
・障がい者サービス(対面朗読など)のできる職員を増やしサービスを拡大する。
- ③ ・高齢者を対象とした事業を開催し、大活字本や朗読CDなどのサービスをPRする。  
・高齢者施設との連携を図り、図書館の利用を促進する。

2 指標

指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
来館者数	90,000	93,704	104.1%	90,000
図書館利用促進につながる事業回数	130	179	137.7%	140

3 自己評価

達成状況

A

バリアフリー映画会や一般(高齢者)向け事業などさまざまな事業を行うことで、図書館への来館者の目標は達成できた。また、バリアフリー資料も積極的に購入し、LL版利用案内も作成した。  
今後はそういった資料やサービスをさらに多くの人に知ってもらえるような活動を行っていく。また移動図書館についても、より多くの市民や団体に使ってもらえるよう、選書、PR等に力を入れていく。

図書館協議会の意見(総評)

達成状況

A

図書館の利用が難しい方を含め、子どもから高齢者までだれもが利用しやすい図書館であるため、移動図書館サービスや読書バリアフリーサービスの充実、電子図書の利用促進など、いつでもどこでも読書できる取組みが来館者数の増加にもつながっており評価できる。特に、広い市域の中において、移動図書館出前巡回や各所施設への団体貸出及び配本など、全域サービスへの積極的な取組みを評価するものである。  
高齢者サービス事業については、居場所づくりの1つとしての役割も果たし、趣向を凝らした事業が展開されているが、福祉部署や社会教育所管課とも連携した事業を展開することにより、更なる効果が期待できる。  
今後も大津市立図書館が、市民の学びを支える生涯学習の拠点施設として、だれもが気軽に利用できる図書館となるようサービスを展開していただきたい。

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和5年度評価シート

活動目標 3	魅力あふれるまちづくりを支える図書館
主な取組み	①郷土資料及び行政資料の収集・整備 ②行政・公共機関等との連携 ③地域資料を活用した運営

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度の取組状況				
① 郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供を行った。 ・収集した郷土及び行政資料の積極的な活用や資料展示を行った。				
② 市関係所管課及び公共機関との連携事業として、施策推進にかかる資料とともに関連図書の見学や講演会、図書資料の団体貸出等を積極的に実施した。年間20回				
③ 学びの継続や発展につなげるために、市関連事業(大河ドラマ「光る君へ」に係る石山寺プロモーション事業・世界農業遺産認定・ユネスコ「世界の記憶」登録に係る三井寺・男女共同参画・認知症啓発・健康推進・自殺対策等)に関連した図書等の資料収集及び展示業務を行った。				
(2) 課題と今後の展開				
① 郷土資料及び行政資料の積極的な収集・整備・保存				
② 社会的課題の解決支援のため、庁内所管課と連携して市民に情報発信していくことが必要 ・庁内各所管課との連携により、施策の推進を側面的に支援する役割を発揮していく。				
③ 貴重な郷土資料の作成や収集が、図書館への資料収集に結びつくように、地域や大津市役所庁内に向けても広報(周知)する必要がある。				
2 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
市関係所管課及び公共機関との連携 展示回数	12	20	166.7%	15
3 自己評価		達成状況	A	
市関係所管課及び公共機関との連携によりテーマ展示を積極的に行った。テーマ設定に基づき積極的に資料収集を実施し、地域課題や行政情報への関心を高め、関連図書資料の貸し出しの増加につなげることができた。 郷土資料や行政資料についても積極的に収集し、学びの継続や発展につなげていくような蔵書の充実を図った。				

II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度の取組状況				
① 郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供を行った。 ・地域在住の方から自筆された本を受入れ、利用者への貸出しを行った。				
② 大津市障害福祉課との連携事業を充実し、発達障害の関連本を展示した。 ・堅田すこやか相談所との連携事業を充実し、健康づくり啓発の関連本を展示した。				
③ 北部地域とのつながりを意識しながら企画運営を図り、北部地域文化センター内の全4所属で第10回ほくぶん子どもまつりを開催した。				
(2) 課題と今後の展開				
① 郷土資料及び行政資料の積極的な収集・整備・保存				
② 社会的課題の解決支援のため、庁内所管課と連携をした展示を行う。 ・北部地域文化センター等と連携し、地域資料を収集する。				
③ 地域で活動する人による歴史や文化等の講演会や展示を開催する。				

2 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
市関係所管課及び公共機関との連携 展示回数	3	5	166.7%	5
3 自己評価		達成状況	A	
<p>市関係所管課との連携により、健康展示や世界自閉症啓発デーに係わる行政資料などの情報を集約し提供することで、魅力あるまちづくりの情報発信を図った。</p> <p>また、北部地域文化センター、堅田少年センター、堅田児童館及び北図書館が地域とのつながりを意識しながら「第10回ほくぶん子どもまつり」を開催した。</p>				

### Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度 of 取組状況				
<p>① 郷土・行政資料の収集・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土・行政コーナーの整備</li> </ul> <p>② 市の施策推進にかかる庁内所管課との連携(チラシ・資料の展示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の公民館だよりへの本の紹介掲載</li> <li>・近隣公民館での乳幼児とその保護者向け事業への参加</li> </ul> <p>③ 地域の魅力を伝える写真展の実施(山本武人さん)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妹子まつりへの参加(本のリサイクル・ヨミガエル)</li> <li>・和邇コミュニティセンター主催の書道(小学生)の展示</li> </ul>				
(2) 課題と今後の展開				
<p>① 市の施策等について、資料をプリントアウトし、資料として受け入れする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土行政コーナーを整理し、展示コーナーを設置して利用を促進する。</li> </ul> <p>② 社会的な課題の解決への支援のため、積極的に庁内所管課と連携した展示を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の市民センター、コミュニティセンターなどと連携し、地域資料を収集する。</li> </ul> <p>③ 地域の自然や歴史、文化、特産物など、講演会や展示など様々な方法で伝える。</p>				
2 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
市関係所管課及び公共機関との連携 展示回数	5	5	100.0%	5
3 自己評価		達成状況	A	
<p>地域のコミュニティセンターやイベントに積極的に参加し、図書館や図書館サービスについてPRできた。また、地域の写真家の作品をお借りして比良山の写真展を行った。</p> <p>市の施策推進に係る展示は、毎年同じところから声をかけていただいているが、さらに多くの連携展示ができるよう、働きかけていきたい。</p>				

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	A
<p>本市は歴史もあり文化財も多く存在する。そのような中において、図書館が行政や公共機関と連携することは、情報収集やそれらの魅力の発信においても大変効果があり、今年度においても様々な事業を積極的に展開された。テーマに沿った関連本の展示、講演会や啓発イベントなど趣向を凝らした事業展開により、市民に発信するとともに来館のきっかけを促し、多くの情報を提供できたことは評価できることである。さらに、地域で活動されている人々と図書館が連携することによって、地域の魅力を発信することにもつながっていた。</p> <p>郷土資料及び地域資料などの収集及び資料提供については、引き続き情報収集に努めるとともに、新たな地域資料の掘り起こしなどにも期待したい。</p>		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和5年度評価シート

活動目標 4	子どもの育ちを支援する図書館
主な取組み	①成長段階に応じた読書環境の整備・充実 ②学校・園や地域との連携 ③子ども読書活動の推進と普及・啓発

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度の取組状況				
①【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児向け・幼児～向けにおはなし会などを実施</li> <li>・小学校低学年・中学年向けブックリスト配布</li> <li>・小学校高学年向けブックリスト作成配布</li> <li>・児童書新刊案内発行・HP掲載</li> <li>・夏休み読書案内(幼児～小学校高学年)作成配布</li> </ul>				
②【学校・園や地域との連携】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育園への絵本セット貸出・配本実施</li> <li>・小学校1年生対象利用案内配布</li> <li>・小学校への定期配本・調べ学習用図書貸出配本</li> <li>・小学2～3年生対象図書館案内出前</li> <li>・小学2～3年生図書館見学受入</li> <li>・学校・園・小中学校初任者研修などでのおはなし会や出前講座実施</li> <li>・小学校3年生対象図書館見学資料作成・配布</li> <li>・移動図書館小学校スポット巡回の実施 5校</li> <li>・中学校1年生ブックリスト配布</li> <li>・中学生対象図書館利用案内配布</li> <li>・中学校へのセット貸出・配本 3校</li> <li>・中学生職業体験受入れ 2校</li> <li>・学校図書館リニューアル支援 6校9回</li> <li>・児童館へのセット貸出の実施 6館</li> <li>・子育て総合支援センターへのセット貸出と出前利用案内・おはなし会の実施</li> </ul>				
③【子ども読書活動の推進と普及・啓発】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座(園・公民館・児童館での絵本講座等の実施)</li> <li>・商業施設への出前おはなし会</li> <li>・季節に合わせた催しの実施、季節ごとのテーマ展示</li> <li>・としょかん絵本講座「翻訳家・石井登志子さん講演会」の実施</li> </ul>				
(2) 課題と今後の展開				
①・子どもの読書環境の整備				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本と親しむ契機となるおはなし会の充実</li> </ul>				
②・子ども読書活動推進のため、学校・園と連携した読書環境整備の支援が必要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが地域で気軽に本に触れることができるよう子育て関連施設等への支援が必要</li> <li>・中学生の読書離れや図書館利用の減少への施策が必要</li> </ul>				
③・児童サービス関連講座の継続的な実施				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを取り巻く大人に向けた読書活動の推進と普及・啓発</li> </ul>				
2 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
児童図書貸出冊数	290,000	305,341	105.3%	290,000
学校・園への団体貸出冊数	20,000	30,049	150.2%	27,000
児童サービス事業(おはなし会等)の回数	270	289	107.0%	270

3 自己評価	達成状況	A
<p>さまざまな年齢の子どもたちに向けたおはなし会等の事業やブックリスト作成・配布、対象に合わせたセット等団体貸出などを実施し、子どもたちが本に触れるきっかけとすることができた。</p> <p>また、感染拡大防止のため中止していた小学2～3年生の図書館見学や一日図書館員、中学生の職業体験の受入れ再開、児童館や商業施設へ出向いてのお話会などを実施し、学校や地域との連携を通じた図書館利用の促進を図った。</p>		

## II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度の実績状況				
<p>①【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堅田児童館の主催事業「びよびよ広場」で絵本のはなしや読み聞かせの実演を1回実施。(新規)</li> <li>・堅田児童館の主催事業「赤ちゃん広場」で絵本のはなしや読み聞かせの実演を3回実施。(継続)</li> <li>・たーたかのおはなし会(月2回)、コロボックルのおはなし会(年12回)、季節のおはなし会(年4回)、夏と春に大きなおはなし会を開催</li> <li>・児童向けの夏休みおすすめ本を作成し、図書館利用者にブックリストを配布</li> <li>・2～3歳向けブックリストの作成(新規)</li> </ul> <p>②【学校・園や地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館職員が仰木の里東小学校へ出向き、2年生に「出前図書館案内」を実施。(継続)</li> <li>・一日図書館員(小学3年生)事業 → 8月の2日間で8人</li> <li>・図書館見学(小学3年生)の受入れ → 堅田小(2日)</li> <li>・職場体験学習(中学2年生)の受入れ → 堅田・伊香立・真野・志賀・皇子山中5校</li> <li>・堅田小・真野小・雄琴小・仰木小・仰木の里小・仰木の里東小・伊香立小・葛川小及び伊香立中・葛川中(継続)と連携し、定期配本や学習支援用の図書の貸出を行い、子どもの読書活動を推進</li> </ul> <p>③【子ども読書活動の推進と普及・啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み期間中に5回の貸出しで、職員が作った景品のプレゼントを実施(夏休みスタンプラリー)</li> <li>・長く読みつがれてきた児童書を中心に、積極的な買替・複本購入を実施</li> </ul>				
(2) 課題と今後の展開				
<p>① ・本に興味をもってもらうため、夏休みブックリストを作成していく。</p> <p>② ・図書館見学や職場体験学習等の受入れ人数に限りがあるが、日程調整を図り、積極的に受入れを行う。</p> <p>③ ・配本人員を確保し、定期配本や図書貸出を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みスタンプラリーを開催し、図書館への来館者数を増やしていく。</li> </ul>				
2 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
児童図書貸出冊数	150,000	149,976	100.0%	150,000
学校・園への団体貸出冊数	8,000	8,011	100.1%	8,000
児童サービス事業(おはなし会等)の回数	40	54	135.0%	45
3 自己評価	達成状況	A		
<p>ボランティア団体「たーたか」や「コロボックル」のおはなし会及び北図書館職員による季節のおはなし会等を開催することで、子どもたちが読書の楽しさに気づき、生涯を通じて本がそばにある暮らしを提供することができた。</p> <p>また、びよびよ広場でのおはなし会や2～3歳向けのブックリストの作成など新規事業に取り組むことができた。</p> <p>さらに、近隣の小学校などと連携を図り、定期配本や学習支援用の依頼図書の貸出を通して、子どもたちの成長段階に応じた読書環境を支援する活動を展開した。</p>				

### Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度の取組状況				
①【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児・児童向け定例おはなし会の開催</li> <li>・乳幼児健診でのおはなし会のチラシ配布</li> <li>・児童書新刊案内「くらぼ」、「夏休み読書案内」の作成・配布</li> <li>・「かがくえほんのおはなしかい」の開催(4回)</li> <li>・ブックトーク(1回)、ストーリーテリングのおはなしかい(2回)の開催</li> <li>・おはなし会でのおすすめ絵本展示</li> </ul>				
②【学校・園や地域との連携】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣公民館での乳幼児とその保護者向け事業への参加(再掲)</li> <li>・学校・園、児童クラブ等への団体貸出</li> <li>・小学校への出前講座</li> <li>・調べ学習支援図書・並行読書用の図書の購入</li> <li>・小学校施設見学の受入、一日図書館員の開催</li> <li>・近隣の学校・園への移動図書館の巡回(再掲)</li> <li>・学校司書の研修会への参加</li> </ul>				
③【子ども読書活動の推進と普及・啓発】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お正月「本のふくぶくろ」(子ども向け)の開催(20袋40冊配布)</li> <li>・子ども読書週間での行事開催(再掲)</li> <li>・子どもと本をつなぐ講座の開催</li> </ul>				
(2) 課題と今後の展開				
①・乳幼児とその保護者が来館しやすいような雰囲気づくり。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会の周知・広報</li> <li>・おはなし会参加の機会を増やす。</li> <li>・読書の機会が少なくなる高学年や中学生向けの事業を行い、読書のきっかけを作る。</li> </ul>				
②・子どもたちが本に触れられるよう移動図書館を活用し、より多くの施設へ本を届けられるようにする。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・園に向けた移動図書館利用のPRと行事の広報</li> <li>・学校に向けた、調べ学習用の図書の活用案内</li> </ul>				
③・子ども読書活動推進のための講演会や講座を行い、子どもの読書についての理解を深める。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども読書週間など読書関連の事業を行い、子どもの読書についての啓発を行う。</li> </ul>				
2 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
児童図書貸出冊数	95,000	92,093	96.9%	95,000
学校・園への団体貸出冊数	14,000	12,727	90.9%	14,000
児童サービス事業(おはなし会等)の回数	40	51	127.5%	45
3 自己評価	達成状況		B	
<p>定例のおはなし会のほか、「かがくえほんのおはなしかい」を行い、こどもたちが科学絵本に触れる機会とそれを楽しむ機会を増やすことができました。また、子どもと本をつなぐ講座を開催し、読み聞かせボランティアの方をはじめ、多くの方と子どもの読書について学ぶことができました。しかし、事業から児童図書の貸出や団体貸出につなげることができなかつたので、学校・園への積極的な利用の呼びかけや、子どもたちへの本の紹介など子どもの読書につながるような事業も考えていきたい。</p>				

4 図書館協議会の意見	達成状況	A
<p>幼児期から学童期・青年期に至るまで、各館の児童サービスについては成長段階に合わせた取組みの工夫があり、子ども読書活動の推進に寄与する展開ができています。また、学校・園や子どもを取り巻く各施設との連携についても、積極的に実施されており、今後もより緊密な連携が期待される場所である。</p> <p>一方で、子どもを取り巻く大人に対し、本への関心を高めていくことが課題と感じている。子どもの図書館への来館も、この点がポイントとなり、学校や家庭など図書館以外での取組も大事になってくる。</p> <p>児童図書の貸出冊数については、目標値を達成できなかった館もあるが、創意工夫した子ども読書活動によって昨年度を上回る成果を上げていることから、継続した展開に期待したい。</p>		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和5年度評価シート

活動目標 5	市民とともにつくる図書館
主な取組み	①課題発見と解決への支援 ②ボランティア活動の推進 ③市民協働の推進

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度の取組状況				
① ・1F・2Fフロアでのテーマ展示実施 一般向け 68回 児童向け 12回 市役所各所管課や地域団体との連携展示 15回(一般展示の内数)				
② ・ボランティア活動の実施 次年度再開に向け、活動内容を精査				
③ ・市民協働の推進 「大津おはなしのとびら」によるおはなし会の実施(夏・冬休みに実施済) 朗読ボランティア「サークルDo」によるとしよかんまつり「おとなのための朗読会」の実施(再掲) 大津市商店街連盟主催「まちゼミ」とのコラボ展示				
(2) 課題と今後の展開				
① ・滋賀県及び大津市に関する資料の充実とテーマ展示の充実。また、効果的な発信を行う必要がある。 ・地域や市役所各所管課と連携し、課題解決支援につながる取組みを推進する。				
② ・活動時の感染症対策を講じる中で、としよかんまつりや定例行事等において、ボランティア活動を再開				
③ していく。				
2 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
図書館事業の協働事業者数	5	4	80.0%	10
3 自己評価		達成状況	B	
<p>季節やテーマに合わせた展示を工夫し、気軽に本を手にとってもらえるよう読書のきっかけをつくることができた。また、他部局と連携した催しにおいて、テーマや事業内容に関連する資料を展示することで、周知・啓発につなげることができた。ボランティア活動の推進については、今年度についても、感染症の予防対策で、書架整理及び本の修理などのボランティア活動を休止したが、対面朗読サービスの再開について、朗読ボランティア団体と協働して広報等で周知を行った。</p> <p>市民協働の推進については、大津おはなしのとびらや、朗読ボランティアサークルDoなど協働で事業を実施した。今後も継続して利用団体との協働事業を実施するとともに、としよかんまつり等の行事においてボランティア活動を進めていく。</p>				

II. 北図書館

1. 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度の取組状況				
① ・1Fフロアでのテーマ展示実施 一般向け16回 児童向け39回 ・市の施策推進に係る庁内所管課との連携				
② ・ボランティア団体(たーたか、コロボックル)による定期的なおはなし会の開催 ・ボランティア活動による本の修理・配架等				
③ ・7名のボランティア登録者による書架の整理や映画会の受付などの実施 ・公民館などで活動されているサークルからの依頼を受け、北図書館司書職員がこどもへの読み聞かせとおすすめ絵本の紹介				

(2) 課題と今後の展開				
① ・今後も利用者の課題発見と解決への支援のための様々なテーマ展示を行う。 ② ・ボランティア参加者の増加と活動領域の拡大を図る。 ③ ・読書ボランティア団体(たーたか・コロボックル)や北図書館友の会との協働事業を推進する。				
2. 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
図書館事業の協働事業者数	20	20	100.0%	20
3. 自己評価		達成状況	A	
ボランティア団体(たーたか、コロボックル)によるおはなし会を定期開催することにより「本」と「人」をつなげる活動の推進を図り、また、図書館ボランティアによる書架の整理や本の修理などに取組んだ。友の会との共催事業で講演会を開催し、市民協働による推進に努めた。				

### Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和5年度 of 取組状況				
① ・課題発見と解決支援につながるテーマ本の展示 ・市の施策推進にかかる庁内所管課との連携(再掲) ② ・サークル協議会への参加 ・蔵書点検ボランティアの募集(3名) ③ ・志賀おはなしの会による「びよびよおはなしかい」「おはなしかい」の開催(22回) ・朗読の会「燠」による「テーブル版図書館だより」の作成(12回) ・志賀おはなしの会、絵本とおはなし「あのね、」との合同おはなし会「おはなしを楽しむ会」の開催 ・「サークルまつり」の開催(妹子まつりと同時開催)				
(2) 課題と今後の展開				
① ・今後も利用者の課題発見と解決支援につながるような様々なテーマの本を紹介していく。 ・レファレンス記録をまとめ、公開することで解決支援につなげる。 ・積極的なフロアワーク・カウンターワークから利用者の課題解決支援に取り組んでいく。 ・社会的な課題の解決への支援のため、積極的に庁内所管課と連携した展示を行う。(再掲) ② ・活動推進にかかる情報提供・情報共有 ・配架・蔵書点検等、個人ボランティアの募集 ③ ・おはなし会や館内行事等読書ボランティア団体との協働事業の推進				
2 指標				
指標名	令和5年度目標	令和5年度実績	達成率	令和6年度目標
図書館事業の協働事業者数	6	6	100.0%	6
3. 自己評価		達成状況	A	
館内事業について、ボランティアサークルと協働しておこなうことができた。また、今年度は蔵書点検についてボランティアの募集を行った。作業だけでなく、図書館の仕事についても知っていただける機会となった。 今後は、本の修理や配架についてもボランティアの募集を検討したい。				

図書館協議会の意見(総括)	達成状況	A
<p>各館とも協働による図書館活動ができるよう事業を展開している様子が実績状況から伺うことができ、一定の評価に値する。</p> <p>協働による事業を実施していくうえでは、図書館の活動を市民に知ってもらうことが大切であると感じている。今後、さらなる情報発信と自主的な活動が醸成されるような環境づくりにつながる取組みにも期待したい。</p> <p>図書館は、多くの市民に利用されることにより、成長し発展していく。今後も、互いに知恵を出し合って「市民とともに作る図書館」が推進されていくよう期待するところである。</p>		